

第 15 回科学の甲子園全国大会開催概要

1. 目的

科学の甲子園全国大会(以下、「全国大会」という。)は、国立、公立、私立の高等学校、中等教育学校後期課程及び高等専門学校(以下、「高等学校等」という。)の生徒等を対象とした科学技術・理科・数学等における複数分野の競技を開催することにより、全国の科学好きな生徒等が集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的とする。

2. 全国大会の実施・協力体制

- (1) 主催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
- (2) 共催 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、
高等学校文化連盟全国自然科学専門部(予定)
- (3) 後援 文部科学省(予定)、公益社団法人日本理科教育振興協会
- (4) 都道府県教育委員会及び協働パートナーの協力を得て開催する。

3. 開催日程

- (1) 令和 8 年 3 月 20 日(金)～23 日(月)の日程で全国大会を開催する。
- (2) 大会の日程は以下のとおり(行事は変更する場合がある)。
3 月 20 日(金) 開会式、オリエンテーション、筆記競技
3 月 21 日(土) 実技競技
3 月 22 日(日) エクスカーション、表彰式、協働パートナー等によるブース展示、
フェアウェルパーティー
3 月 23 日(月) 解散

4. 場所

つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園 2 丁目 20 番 3 号)及び
つくばカピオ(茨城県つくば市竹園 1 丁目 10 番地 1)

5. 出場チーム

- (1) 全国大会出場チームは、学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)に定める高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程(以下、高等学校等)に所属する生徒で構成する。なお、構成員は高等学校等での通算在籍が過去の在籍も含め 2 年未満の生徒とする。
- (2) 全国大会出場チームの員数は 6 人以上 8 人以内とする。
- (3) 全国大会出場チームは 1 校単位で編成する。
- (4) 全国大会出場チームは、1 都道府県 1 チームとし、全ての都道府県から出場するものとする。

- (5) 各都道府県教育委員会は全国大会出場チームを選考する。その実施方法は各都道府県教育委員会の定めるところによる。

6. 競技の種類

大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

(1) 筆記競技

筆記競技は、理科、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で競うものとする。なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題も出題される。

(2) 実技競技

実技競技は理科、数学、情報に関わる実験、実習、考察等、及び科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等により課題を解決する力を競うものとする。

7. 競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チームが問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数、配点比率及び競技時間は以下のとおり。

種 目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
筆記競技	1 競技	6 名 / 1 競技	筆記競技と実技競技の配点比率は 1:2 とする。	120 分程度
実技競技	3 競技	3～4 名 / 1 競技		競技毎に決定

8. 表彰等

- (1) 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。
- (2) 優勝チームには、文部科学大臣賞を授与するとともに、米国で開催されるサイエンスオリンピアドへの派遣を行う。
- (3) 総合成績第 2 位のチームには、科学技術振興機構理事長賞を授与する。
- (4) 大会成績により、その他の表彰を授与する。
- (5) 大会成績上位の出場チーム名は公表する。出場チームの成績は当該出場チーム及び当該教育委員会に提供する。

9. 費用負担

- (1) 出場チームの選手及び引率教員 1 名の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則として主催者が負担する。
- (2) 都道府県大会、及び、選考された代表チームの研修にかかる費用のうち、認められるものについては JST がその費用を支援する。但し、都道府県にも応分の負担を求めるもの

のとする。

10. 都道府県への支援

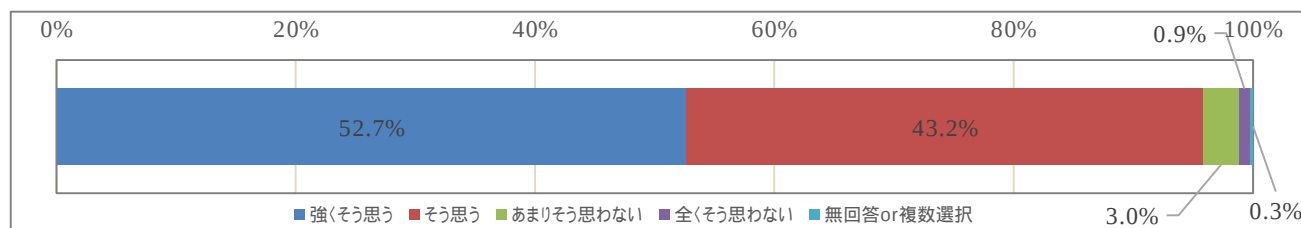
9.(2)の支援のほか、JST は都道府県が代表チームを選考、研修できるよう、その他の支援を行う。

以上

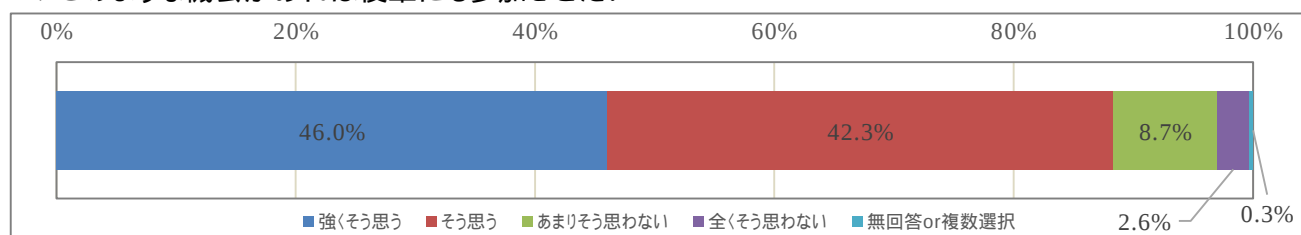
(参考)

令和6年度都道府県大会(高校版)参加生徒へのアンケート結果

1. 参加して良かったと思いますか

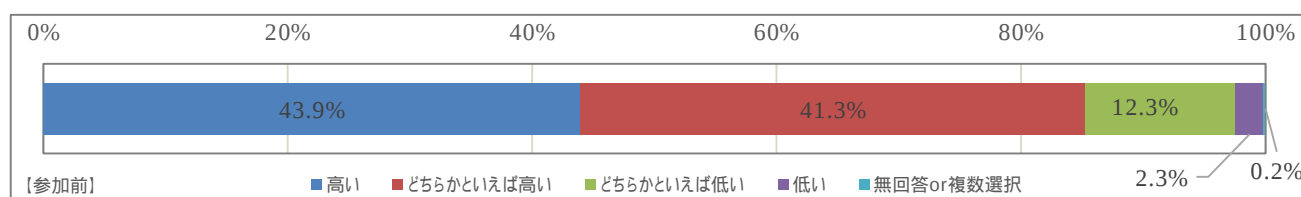


2. このような機会があれば後輩にも参加させたい

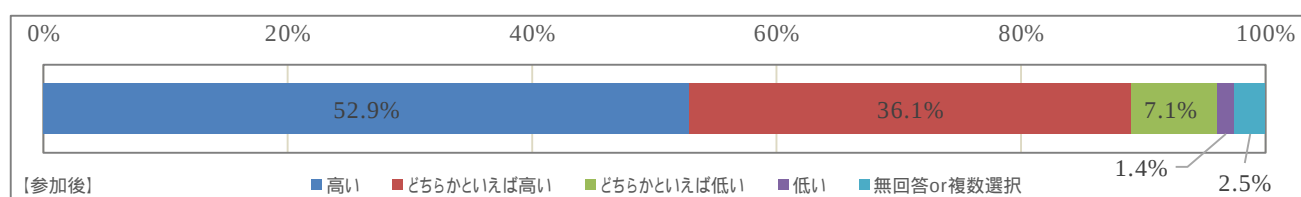


3. 科学技術に関する学習意欲について(都道府県大会参加前と参加後での変化)

(参加前)



(参加後)



令和6年度の各都道府県大会のアンケート結果をまとめて集計
いずれのアンケートも N=6,790